

北 秋 田

地域医療の環境改善へ

八戸市出身 耳鼻科の新医院開業 丸屋さん

耳鼻咽喉科の開業医が今年2月から不在だった北秋田地域に3日、新たな医院が開設される。医師・丸屋信一郎さん(45)＝青森県八戸市出身＝の「まるや耳鼻科クリニック」(北秋田市松葉町)。不在の間、唯一診療科のある市民病院に患者が集中し混雑していることから「地域の医療環境改善につながる」と期待の声が上がっている。

故・石川氏の遺志継ぐ

丸屋さんは平成8年、弘前大医学部を卒業。同大大学院を経て、米國テキサス大や国際医療福祉大(東京)などの医療機関に勤務した。25年4月から会津中央病院(福島)に勤め、開業準備のため今年7月に退職。大館市に移り住んで新たに導入した。腫瘍治療を専門にした経験から、1次医療を支える開業医にも「より精密に診断できる超音波検査器(エコー)が必要」と判断。開設にあたって新たに導入した。



福島から移り住み、開業する医師の丸屋さん(まるや耳鼻科クリニック)

開設場所はもともと耳鼻科の医院だった。そこで長い間、地域で唯一の開業医だった石川馨氏が今年2月に死去。医院も閉まった。不在状態を懸念した医療関係者から、丸屋さんに開業の誘いがかかった。約20年前、北秋中央病院に勤務した縁があった。「大学の先輩に当

たる石川先生の遺志を継ぐ思い」もあり決心した。旧医院の施設設備をそのまま引き継いだ。「地域に根ざした、質の高い医療を提供したい」と話す。

現在、同市や小阿仁村で

耳鼻科の診察を受けられるのは市民病院だけ。病院事務局によると、3月末までは非常勤医1人が週2回、午後から診察していた。患者の増加に伴い、派遣元の秋大医学部付属病院に協力を仰ぎ、4月から週3回態勢を取った。それでも混雑は続き、午後5時の診察終了時間を過ぎる日もあったという。

高度な治療を受けられる2次医療機関として本来、医師には重度な患者らに専念してもらいたいところ。症状に応じて役割分担が可能になる開業医の存在は「ありがたい」

患者の中には大館市内の開業医まで足を運ぶ人もおり「通う時間が短くなる」との声も。大館北秋田医師会の奈良正人会長は「地域の医療環境の改善につながる」と期待している。

まるや耳鼻科クリニック
☎0186・62・140
0)の診療時間は午前9時から午後0時30分、午後3時から6時30分まで。休診は木曜、土曜午後、日曜、祝日。

北 秋 田 3 路線目を実証運行

北 秋 田
デマンド タクシー 3日 から「市民病院西線」

北秋田市は3日から、同市李岱羽立地区を起点とするデマンド型乗り合いタクシー「市民病院西線」の実証運行を始める。公共交通機関が運行していない「空白地区」にあたり、市民病院行き移動手段を確保する。

市内のデマンド型タクシーの起点は本城になり、往路のは昨年10月から明利又線と市民病院南線の2路線が運行している。南線の起点となっていた福田、新田目地区を西線に組み入れて再編した。南線の

の起点は本城になり、往路の出発時間は従来通り午前7時40分。総合政策課によると、羽立や隣の羽根山地区には路線バスが運行していない。住民は

自家用車などで移動していた。公共交通機関の空白を解消する目的で3路線目となる西線を設けた。29年9月末まで1年間、ニーズや利用状況などを検証する。利用希望者は事前登録が必要で、9月末時点で62人が登録済み。

運行は月々金曜日。往路は1本で午前7時30分に羽立発。羽根山(同35分)、福田・

女性は「家庭問題」がトップ